学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	建築計画	単位数	1 単位	年次	1　年次
使用教科書	建築計画（実教出版 工業749)						
副教材等	カラー版 図説 建築の歴史 西洋・日本・近代 、建築資料集、自主編成資料 等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築計画では、講義や実例の分析を通して、建築・自然・都市・インテリアといった「部分」と「全体」の密接な関係について学びます。歴史的建造物から現代建築までの幅広い事例に触れることで、自分自身の価値観を養い、「社会はどうあるべきか」という問いに向き合います。建築の学びを通じて、これからの社会に貢献できる豊かな創造力を持った人材の育成を目指します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
建築と環境、各種建築物の計画、都市設備、建築史等の基礎的知識を習得し、建築主の意図を分析・整理して建築物を具体的に立案するための調査や検討の方法を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
安全性に配慮しつつ、強・用・美を備えた豊かな建築空間を構築するため、調査結果に基づき合理的な構想を練り、目的に応じた計画を論理的にまとめ設計する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
建築が設計・施工を経て社会に及ぼす影響を理解し、専門的立場から社会貢献を目指すとともに、より良い建築環境の創造に向けて主体的に計画に取り組む態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築計画の意義や役割、計画のプロセスを理解し、各種建物の計画手法や環境工学に関する基礎的な知識を習得するとともに、計画の根拠となる各種データの抽出・算出などの技能を身に付けている。	建築主の要求や社会的な課題に対し、習得した知識・技術を多角的に活用して解決策を思考・判断し、安全性や合理性を備えた建築空間の構想を、設計者としての立場から的確に表現している。	建築が社会に果たす役割を自覚し、安全性や環境に配慮したより良い建築空間の創造を目指して、計画の立案や実験・実習における諸課題の解決に向け、自律的かつ粘り強く取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ガイダンス	日本および世界の建築計画の歴史や地球環境と建築計画のかかわりについて、図やイラストなどを用いてわかりやすく説明し、建築に対する興味・関心を高めるようにする。	a：建築史の変遷や環境との関わりを理解している。 b：歴史や環境の知見を基に計画の意義を説明できる。 c：歴史や環境負荷低減を自らの計画に活かそうとする。	小単元でのテスト実施結果	課題レポートの完成度や提出物の状況	課題レポート・プリント・ノートの完成度や提出物の状況
	住宅の計画	住宅の役割や種類のほか、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能を示し、その計画上の特質について理解させる。また、住宅地に建つ標準的な独立住宅の計画を示し、建築計画の進め方について理解させる。	a：住宅の構成や設計技法を演習で活用している。 b：条件を分析し、エスキスを通じ空間を構想する。 c：試行錯誤を重ね、粘り強く設計課題に取り組む。	小単元でのテスト実施結果	課題レポートの完成度や提出物の状況	課題レポート・プリント・ノートの完成度や提出物の状況
2学期	住宅の全体計画・各部の計画	・独立住宅の敷地・配置・平面などの各計画にあたっての留意事項を示し、設計への具体化について理解させる。また、独立住宅における各室の形状、形態、適正な規模などを示し、さまざまな条件に対応した各室の計画の方法について理解させる。 ・住宅地に建つ木造の独立住宅を題材にして、建築計画の順序やエスキスの表現方法などを理解させる。	a：敷地や平面計画の留意点を理解し、図面化する。 b：環境や動線を分析し、合理的な空間を計画する。 c：質の高い設計を目指し、粘り強く演習に励む。 a：木造の寸法や計画手順、表現技法を習得する。 b：条件を分析し、エスキスで空間を構想・検討する。 c：試行錯誤を繰り返し、粘り強く設計演習に励む。	小単元でのテスト実施結果	課題レポートの完成度や提出物の状況	課題レポート・プリント・ノートの完成度や提出物の状況
3学期	事務所の計画	事務所の目的や種類、使われ方のほか、敷地・配置・平面などの各計画にあたっての留意事項、および事務所を構成する各室の形式や適正な規模などを示し、事務所の計画の方法について理解させる。	a：規模算定やコア形式等の専門数値を習得する。 b：経済性と快適性を両立した空間を計画できる。 c：数値を根拠に、最適な計画を粘り強く模索する。	小単元でのテスト実施結果	課題レポートの完成度や提出物の状況	プリント・ノートの完成度や提出物の状況

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度